

2026年度 受講案内

願書受付

入学手続に必要な書類を当神学校に請求してください。
(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)

- * 願書に必要事項を記入の上、
3月6日(金)までに郵送してください。
- * 本科・教会音楽科の入学希望者は
牧師の推薦が必要です。
- * 専攻科入学希望者は教会総会の推薦が必要です。

入学面接

3月19日(木) 午後6時30分

- * 但し、専攻科は筆記試験、
教会音楽科は実技試験を行います。

入学礼拝

4月3日(金) 午後6時30分

於：日本バプテスト連盟会館

学 期

- 前期 4月6日(月)～8月3日(月)
<夏期休講 8月4日(火)～8月31日(月)>
- 後期 10月5日(月)～2月27日(土)
<冬期休講 12月15日(火)～1月2日(土)>

休業日

主日、水曜日、国民の祝日
(但し2月11日は除きます)

受講時間

- 月曜・火曜・木曜・金曜日
午後7時～8時40分(100分)
- 土曜日
 - ① 9時40分～11時20分(100分)
 - ② 11時30分～12時30分(60分)

受講料

	本校学生	本校学生以外の受講者	
		一般受講	後援会受講
科目4単位ごと	25,000円	30,000円	17,500円 ※通信事務費を含む
科目2単位ごと (夏期・冬期講座、合唱、他)	12,500円	15,000円	7,500円
通信事務費1科目ごと	5,000円	5,000円	5,000円 ※教会共同受講の場合は免除
教会実習 / 卒業論文 (専攻科3年目)	30,000円		
専攻実技(4単位)	75,000円		

※「後援会受講」は年会費5,000円かオンライン月々支援が必要となる。

※ 専攻科生は、1年目・2年目のみ年間200,000円を納め、すべての開講科目を受講できる。

3年目は、教会実習、卒業論文は各30,000円、その他の科目を受講する場合は、1科目ごとに別途受講料が必要となる。



後援会の会費は **月々500円から** ご支援いただけます。

ホームページの「後援会月々支援」のページで、クレジットカードを使ってご支援いただけます。
スマホやタブレットからお手続きができますので、ぜひ皆様のお祈りとご支援をお待ちしています。

◀ **今すぐアクセス!** <https://tbts.jp/online-shien/> (後援会月々支援ページ)

2026年度 開講科目

前期

曜日	科目名	単位	必修科目	担当講師
月	公開講座「新約聖書学A」	4	本科・音楽科必修	安井 聖
月	バプテスト史	4	専攻科必修	片山 寛
火	公開講座「旧約聖書学A」	4	本科・音楽科必修	日高 嘉彦
火	神学入門	4	本科・音楽科必修	濱野 道雄
木	礼拝学A(礼拝音楽)	4	本科・音楽科必修	菊地 るみ子
木	ギリシャ語A	4	本科必修	平野 健治
金	公開講座「牧会学」	4	専攻科必修	才藤 千津子
金	説教学A	4	本科必修	吉田 真司
土	公開講座「合唱」	2	音楽科必修	山中 臨在
土	会衆賛美B	4	音楽科必修	江原 美歌子、菊地 るみ子、山中 臨在、 西野 修平、友納 聖子
夏期	夏期公開講座(8月10～11日)	2	専攻科必修	新田 義貴

▶「教会実習」学生主任担当、「卒業論文」教務主任担当、「専攻実技」音楽科主任担当

後期

曜日	科目名	単位	必修科目	担当講師
月	公開講座「宣教学」	4	—	小牧 由香
月	新約聖書学B	4	専攻科必修	平野 健治
火	神学実践	4	専攻科必修	濱野 道雄
火	ヘブル語A	4	本科必修	城倉 啓
木	公開講座「旧約聖書学B」	4	専攻科必修	渡邊 さゆり
木	公開講座「礼拝学B」	4	専攻科必修	越川 弘英
金	公開講座「説教学B」	4	専攻科必修	朝岡 勝
金	教会音楽概論	4	本科・音楽科必修	江原 美歌子、小松澤 恵
土	公開講座「合唱」	2	音楽科必修	山中 臨在
土	和声・編曲	4	音楽科必修	十時 節子
冬期	冬期公開講座(12月28～29日)	2	専攻科必修	上村 静

曜日	<ビデオ講座> 科目名	単位	必修科目	担当講師
各学期	キリスト教史	4	本科必修	内藤 幹子
	ギリシャ語B / ヘブル語B	4	専攻科必修	城倉 啓
	アラム語	4	—	城倉 啓

2026年度 前期 講義シラバス

月 公開講座 「新約聖書学A」～ 新約聖書はキリストと出会う27の扉 (講師：安井 聖)

この講座では、第一に新約聖書各巻の緒論的な知識を概観します。第二に各巻の神学、特にそれぞれがどのようなキリスト論を展開しているかを学びます。第三に各巻の神学的メッセージが、自分自身に、共に生きる人々に、自分たちの教会に、自分たちが生きている世界に対するどのような語りかけとなっているかを考察します。

テキスト：レジュメを配布します。

参考書：高柳俊一他『新約聖書のこころ』キリスト新聞社、2005年、フランシスコ会聖書研究所『聖書 原文校訂による口語訳』サンパウロ、2013年

月 「バプテスト史」～ バプテスト教会の歴史的特徴「庶民性」を、古代から現代まで考える (講師：片山 寛)

バプテスト教会の歴史的特徴は、ルターやカルヴァンのような偉大な先駆者によって始まったのではなく、名もない庶民によって始まったのだ、ということです。意図したことではありませんが、それはキリスト教会自身の始まりと一致しています。ペトロやヨハネといったガリラヤの漁師たちから教会は始まったのであって、偉大なパウロからではありませんでした。そのことの意味を、ここでは講義をしながら皆さんと御一緒に考えたいと思います。

テキスト：テキストは定めず、毎回、私が準備した文書資料を読みながら、講義をします。

参考書：大西晴樹『イギリス革命のセクト運動』お茶の水書房1995年、『資料・バプテストの信仰告白』斎藤剛毅編、ヨルダン社1980年、斎藤剛毅『バプテスト教会の起源と問題』ヨルダン社1996年

火 公開講座 「旧約聖書学A」～ 旧約聖書の世界を読み解く一問いとしての聖書 (講師：日高 嘉彦)

旧約聖書（ヘブライ語聖書）は、古代イスラエルの歴史と信仰の歩みを通して、神と人との関係を問い続けてきた書物です。それは単なる過去の記録ではなく、時代ごとに異なる状況の中で、信仰がどのように理解され、語られてきたかを伝えています。本講では、旧約聖書を正典の形成や本文伝承、歴史・地理・文化といった背景を手がかりに概観しながら、各書がどのような問いの中で生まれ、どのようなメッセージを語っているのかをたどります。こうした学びを通して、私たちが今日、どのように聖書を読み、信仰を考えるのかを問い直していきます。必要に応じて、新約聖書との関係にも触れます。

テキスト：特にありません。講師は『協会共同訳』を使います。

参考書：『新版 総説旧約聖書』日本キリスト教団出版局、2007年。その他、授業内で紹介します。

火 「神学入門」～ 神学という旅の海図を手にする (講師：濱野 道雄)

神学とは何か、と一緒に考えます。神学そして教会の定義も宣教状況と共に見直されつつあります。この神の導く歴史を渡る「海図」を描いてみましょう。また神学は近代以降、聖書神学、歴史神学、構成（組織）神学、実践神学という4分野に分けられることが多くあります。その弊害も考えつつ、便宜的にその分類に沿って概要、トピックス、課題を概観していきます。授業では、前回授業の応答、講義、質疑応答、神学テキスト講読、ディスカッションを毎回行います。単位取得者には、毎回の神学テキストから、その要約と考察を20分程度発表してもらいます。「信徒の神学を求めて」語り合えれば幸いです。

*なお3回程度授業開始時間の変更をする可能性があります。

テキスト：基本的に毎回、前の回までに様々な神学テキストを指定し、コピーを配布します。

参考書：授業において、神学それぞれの分野において「手元に置いておく」と便利な本を紹介していきます。

木 「礼拝音楽」～ 教会を建てあげる礼拝音楽 (講師：菊地 るみ子)

私たち教会が最も大切にしている教会の働きの一つである礼拝を学びます。礼拝プログラムには欠かすことのできない「礼拝音楽」を中心に、旧約聖書や新約聖書にもみられる礼拝音楽を調べます。日頃の礼拝プログラムを検証、点検し、教会を建てあげるより豊かな礼拝と礼拝音楽と一緒に考え、学んでいきたいと願います。

テキスト：「キリスト者の礼拝」（キリスト新聞社）・聖書・新生讃美歌・新生讃美歌ブックレット その他

参考書：別途資料

木 「ギリシャ語A」～ Let's Greek! みんなで楽しくギリシア語に挑戦! (講師: 平野 健治)

海外から来た友人に「日本語を勉強するきっかけ」を聞くと「日本語でマンガを読みたいと思ったから」と返ってきました。確かにマンガを日本語で読むことは、そのマンガの世界観をより深く知ることにつながるはずです。私達がギリシア語を学ぶ理由もこれに似ています。新約聖書はギリシア語で書かれました。すでに日本語でも読むことができますが、ギリシア語で直接聖書を読むことで、聖書の内容や背景にある世界観をより深く触れることができます。この講座ではギリシア語の基礎的な文法を学びます。原典から深い意味を読み取ることができるようになることがゴールです。楽しく歌を歌いながら学びましょう。

テキスト: 野口誠『聖書検定ギリシア語【初級】【上級(中級を含む)】』一般社団法人聖書検定協会

参考書: 『ギリシア語新約聖書訳義事典』教文館(3冊セット)、大貫隆『新約聖書ギリシア語入門』岩波書店

金 公開講座 「牧会学」～ 現代社会に生きるわたしたちの牧会 (講師: 才藤 千津子)

この講義では、聖書の牧会理解やキリスト教教会の歴史を概観したのち、現代の牧会学の主な理論について、また今日の教会で出会う牧会的課題のいくつかについて学びます。また、祈りや黙想、内省、話し合いなどを通して、キリスト者、教会者としての自分に対する気づきを深め、自分にとって教会とは何か、今日の社会の中で悩みや苦しみの中にある人々をどう支えて行けるかなどについて、ともに考えてゆきます。バプテスト教会では、信徒全員が、共に教会を形作り、共に宣教する使命を担います。ですから、牧会は、牧師だけではなくすべての信徒に与えられた責務であり、恵みです。その意味で、どなたにも興味を持てるような授業を心がけたいと思います。授業は、講師による講義とディスカッション、エクササイズ、また、必要に応じて映像の視聴を交えながら授業を進めます。各講義の終了時には、授業の感想やコメント、質問を提出してください。次回の授業で講師が応答します。

テキスト: 特になし

参考書: チャールズ・V・ガーキン『牧会学入門』越川弘英訳 日本キリスト教団出版局 2012年、E. トゥルナイゼン『牧会学—慰めの対話』加藤常昭訳 日本基督教団出版局 1961年、ヘンリ・ナウエン『傷ついた癒し人 新版』渡辺順子訳 日本キリスト教団出版局 2022年。その他、適宜授業内で紹介します。

金 「説教学A」～ 畏れつつ、喜びつつ、福音に仕えるために (講師: 吉田 真司)

説教(学)に関する複数の書籍を手掛かりとして、そこに講師の牧会(説教)現場の経験から会得してきたこと(反省と課題含む)を織り交ぜながら、机上の学びではなく、できる限り教会現場に適應する学びとなるように努めます。そして最終盤には受講者一人ひとりが「説教者」たる自分をイメージできるように共に学べたらと思います。専任の牧師(伝道者・説教者)を置けない教会が増加している諸教会の現在において、バプテスト教会の信徒として一人ひとりが「説教」という教会形成に欠かせない務めを担い得ていっていただけるように、その召しへの動機付けの入り口となりましたら幸いです。

テキスト: 講師が都度準備する資料をテキストの代わりといたします。

参考書: 『総説 実践神学』(日本基督教団出版局)、R. ボーレン著 加藤常昭訳『説教学 I』(日本基督教団出版局)、ボンヘッファー著 森野善右衛門訳『説教と牧会』(新教出版社刊)、越川弘英著『今、礼拝を考える』(キリスト新聞社)、小泉健著『みんなの説教入門』(日本キリスト教団出版局)、大嶋重徳著『若者に届く説教』(教文館)

土 公開講座 「合唱」～ 新しい歌を主に向かって (講師: 山中 臨在)

個性の異なる者たちが互いに聞き合い、受け入れ合い、支え合って一つのハーモニーを奏でて主を賛美する恵みや豊かさ、そしてその意義を、合唱を通して学ぶ。本校神学生以外の一般参加者も広く参加を歓迎する。

土 「会衆賛美B」～ 礼拝、会衆賛美を豊かにするために (講師: 江原、菊地、山中、西野、友納)

礼拝の「会衆賛美」は神に招かれた礼拝参与の恵みの経験です。信徒による信仰告白と証し、教会形成である「会衆賛美」の働きをおさえつつ、「会衆賛美B」では、その実践をさまざまな角度から学んでいきます。会衆賛美を通して、教会の多岐にわたる働き、そこに集う世代を超えた人々、音楽を導く働き、賛美に伴走する楽器、あらたな会衆賛美の動向について理解を深め、技術に留まることなく、神賛美、礼拝の基礎を踏まえ、実際の礼拝に生かすために必要なエッセンスを学んでいきます。各回では内容に則して講師をたてており、専門的な見地を通して、実践方法、具体的な指導法などを習得することができます。

テキスト: 聖書・『新生讃美歌』・『キリスト者の礼拝』・『新生讃美歌ブックレット』・『みんなのさんびか1』

※後期の講義シラバスにつきましては、8月発行予定の「後期受講案内」にてお知らせいたします。

※ビデオ講座の講義シラバスおよび講義予定表は、神学校ホームページよりご覧いただけます。